

第一回「嘉田県政を検証する県民のつどい」記録（その3）

【質疑応答、進行＝武村元知事】

武村：熱気で温度上がっている。予定通り、コメンテーター、本人が話した。会場は9時まで。今日来られた人は全員意見があると思うが全部は聞けない。途中で時間切れで締めくくると思う。

Q（女性、高島市議会議員、熊谷もも）

2年前の「懐かしい未来」というフォーラムで嘉田知事の話聞いて感銘を受けて、高島市議選に立候補を決意して、脱原発を訴えて当選した。嘉田知事を尊敬している。質問は木材チップの問題はショックだった。オスプレイのとき、嘉田知事が来なかったのか教えて欲しい。

知事：高島の皆さんには大変心配かけた。申し訳なく思う。県管理の河川敷近くに土地をもっている人が鍵を借りに来て、道路が通りにくいので木材チップで道路の補修をする、と言って、チップを敷き詰めた。担当は、「善意の人がいるんだ」と思って数ヶ月放置された。昨年9月に、放射性物質が検出された、という知らせを聞いてすぐに対応するように、指示をして、国にも対応を求めた。国は、8000ベクレル以下の濃度の低い廃棄物には直接に関与できないというので、いくつか処理場を紹介してもらったが、なかなか受け入れてくれるところがなかった。

そこに最初に放置した人達、善意の人が現れて、安全に処理するからと撤去計画を県に出してきた。計画にはどこに持っていくかは書かれているが、公開しない、という前提で計画を受けており、県の情報公開条例では今の所、その情報は出せない。ただ、不服申立の審議会を出せ、と言われたら出すこともある。しかし、営業に不利益が及べば県が賠償しなければならない。個人の賠償も覚悟しています。

この状況は、個人的には、はらわたが煮えくりかえるほど悔しい思いをしてきた。あれほど大事にしてきた琵琶湖岸に汚染物を置かれたことは悔しい。担当も大変な苦勞をしてきた。今のところ、県外のある施設で、法的に適正に処理されているという報告にさせてください。その場所がどこかというのは、県の情報公開条例の中で申し上げられない。決して隠すことが良いとは思わない。ただ、風評被害のような不測の不利益により、県が賠償責任を負わされるかもしれない。

一方、放射性物質が、もし空から振ってきたらどうなるのか。今回の木材チップの問題ど

ころではない、大騒ぎになる。そもそも住めなくなるかもしれない。今回私たちは良い勉強をした。情報公開の問題の責めはうけますが、放射性物質をこれ以上拡散してはいけません。私自身納得できていないので、皆さんが納得できる説明ではないと思うが、ぎりぎりの説明です。

武村：行政は知事でも大臣でも、あるテーマについて、ある機関は情報を公開しない方が良いことがある。やむを得ないことが時々ある。特に権力を預かる場合は保身のためではなく、期待する結果が得られなくなる時は徹底して非公開にすることもある。嘉田さんを弁明している訳ではない。ドイツのバイツゼッカーさんが言った。「過去に目をつむる者は現代に対しても盲目である」。未来に対する盲目だと思う。

Q（女性）

放射能のことが出たので発言したい。もう一度嘉田知事にがんばってほしい。今私たちの置かれた立場は厳しい。自民政権が再稼働を進める。全国の使用済み核燃料処分地の候補地をプロットしたと報道されている。地層処分すると公然と計画している。5月から地名が出ることも聞いている。嘉田知事が再稼働に心を痛めていることも随分心を痛めているという発言を聞いて、もう一度頑張ってもらいたい。滋賀県の名前もリストに挙がっている。こういう状況下で、今、立候補しようとしている自民党、民主党では安心できない。もう一度嘉田知事に頑張ってもらいたい。

武村：

はい、わかりました。次、守山のあなた。

Q（高齢男性）

2027年に東京大阪のリニア新幹線が開通する。大阪には18年後にしか行かない。東京・名古屋は発展するけど、大阪はがた落ち。道州制しかないと聞いたが、滋賀には道州制は旨みがない。世界をリードしなあかん。

Q（男性）

武村さんは高度経済成長期に努力された。「もう成長ないよ」とはっきり言ったのが嘉田さん。これを次、世代間抗争を解消するのが問われている。

武村：

原発の問題は滋賀県民にとって極めてシリアス、重大な問題。東京よりも、14基も原発が並んでいる立地だけ考えても、滋賀県は非常に立地条件は大変。この問題に関心を持たないといけません。嘉田さんの原発に対する考えに賛成の人は手を挙げてください（大半）。

反対の人は（５～６人小さく挙手）はい。

Q（若い男性）

嘉田さんが２期で頑張ったことは理解したが、これから地域でNPO、市民発電とかは大事。自己評価でも低い。８年前、嘉田知事の選挙を応援したが、住民自治はまだ弱い。頑張っている市民を次はどうしていききたいのか。考えて欲しい、（笠原、藤井がうなずいている）

武村：

市民の力生かし切れなかったというご批判ですが、知事に答えてもらうには時間がたりない。はい次。

Q（東京の男性）

今日このために東京から来た。アール・ブリュットの分野では日本より滋賀、と考えられている。引き続き取り組んでほしい。外交カードにもなるので努力して欲しい。

武村：

アール・ブリュット続けるために県政続けてほしいということでした。次。

Q（高齢男性）

嘉田知事は頑張っているが、意思表示をまだしていない。自民が必死でやる。負けたらただの人。一日も早く決意してほしい。

武村：

選挙は一般には早く立候補した方が有利というが、私の経験では必ずしもそうではない。中身がばれてきて、メッキがはがれて。直前にぱっと出た方が有利ということもあります。新鮮みがあって。

Q（大津市のキタムラミエコ）

源流の森を守るためにもう一期やってほしい。

武村

はい、ひげの方。

Q（男性）

南小松の民宿で茶話会しているようなので、開催したいがどこにお願いしたらいいのか。

嘉田

後援会、嘉田由紀子と歩む会です。会場に会長の小坂育子さんが来ておられるので直接に話をしてください。

Q（若い男性）

嘉田知事、今名前が出ている役人出身の候補者をどう思うか？一般論で結構です。役人出身で落下傘。

知事

全国的に見ると47知事のうち30人ぐらいは役人出身です。役人出身ではない知事の方が少ない。それが事実です。それ以上はコメントを差し控えます。

Q（大津の若い男性）

琵琶湖大橋を早く無償化してほしい。あと、県のいじめ対策方針出たが、滋賀県は法律に準拠する。大津市はいじめをもっと広範囲にとらえている。市町と県の矛盾発生している点について考えを

武村

矛盾というけど、違いはあって良い。それがまさに地方自治ですが、いじめ問題だけこたえてください。

嘉田

それぞれの自治体で対象とする学校が違う。小中は大津市、県立は県。微妙な解釈の違いはあるが、いじめは関係性の病理と考えており、深く広くとらえるべきと私自身は認識している。

武村

時間です。今日、皆に一致するのは嘉田県政に期待している点。万が一新しい人になろうと、政策を続けてやってほしいということ。これで終わります。

第一回「嘉田県政を検証する県民のつどい」記録（その3）

【質疑応答、進行＝武村元知事】

武村：熱気で温度上がっている。予定通り、コメンテーター、本人が話した。会場は9時まで。今日来られた人は全員意見があると思うが全部は聞けない。途中、時間切れで締め

くくると思う。ご容赦ください。

Q（女性、高島市議会議員、熊谷もも）

2年前の「懐かしい未来」というフォーラムで嘉田知事の話聞いて感銘を受けて、高島市議選に立候補を決意して、脱原発を訴えて当選した。嘉田知事を尊敬している。質問は木材チップの問題はショックだった。オスプレイのとき、嘉田知事が来なかったのか教えて欲しい。

知事：高島の皆さんには大変心配かけた。申し訳なく思う。県管理の河川敷近くに土地をもっている人が鍵を借りに来て、道路が通りにくいので木材チップで道路の補修をする、と言って、チップを敷き詰めた。担当は、「善意の人がいるんだ」と思って数ヶ月放置された。昨年9月に、放射性物質が検出された、という知らせを聞いてすぐに対応するように、指示をして、国にも対応を求めた。国は、8000ベクレル以下の濃度の低い廃棄物には直接に関与できないというので、いくつか処理場を紹介してもらったが、なかなか受け入れてくれるところがなかった。

そこに最初に放置した人達、善意の人が現れて、安全に処理するからと撤去計画を県に出してきた。計画にはどこに持っていくかは書かれているが、公開しない、という前提で計画を受けており、県の情報公開条例では今の所、その情報は出せない。ただ、不服申立の審議会を出せ、と言われたら出すこともある。しかし、営業に不利益が及べば県が賠償しなければならない。個人の賠償も覚悟しています。

この状況は、個人的には、はらわたが煮えくりかえるほど悔しい思いをしてきた。あれほど大事にしてきた琵琶湖岸に汚染物を置かれたことは悔しい。担当も大変な苦勞をしてきた。今のところ、県外のある施設で、法的に適正に処理されているという報告にさせてください。その場所がどこかというのは、県の情報公開条例の中で申し上げられない。決して隠すことが良いとは思わない。ただ、風評被害のような不測の不利益により、県が賠償責任を負わされるかもしれない。

一方、放射性物質が、もし空から振ってきたらどうなるのか。今回の木材チップの問題どころではない、大騒ぎになる。そもそも住めなくなるかもしれない。今回私たちは良い勉強をした。情報公開の問題の責めはうけますが、放射性物質をこれ以上拡散してはいけません。私自身納得できていないので、皆さんが納得できる説明ではないと思うが、ぎりぎりの説明です。

武村：行政は知事でも大臣でも、あるテーマについて、ある機関は情報を公開しない方が

良いことがある。やむを得ないことが時々ある。特に権力を預かる場合は保身のためではなく、期待する結果が得られなくなる時は徹底して非公開にすることもある。嘉田さんを弁明している訳ではない。ドイツのバイツゼッカーさんが言った。「過去に目をつむる者は現代に対しても盲目である」。未来に対する盲目だと思う。

Q（女性）

放射能のことが出たので発言したい。もう一度嘉田知事にがんばってほしい。今私たちの置かれた立場は厳しい。自民政権が再稼働を進める。全国の使用済み核燃料処分地の候補地をプロットしたと報道されている。地層処分すると公然と計画している。5月から地名が出るとも聞いている。嘉田知事が再稼働に心を痛めていることも随分心を痛めているという発言を聞いて、もう一度頑張ってもらいたい。滋賀県の名前もリストに挙がっている。こういう状況下で、今、立候補しようとしている自民党、民主党では安心できない。もう一度嘉田知事に頑張ってもらいたい。

武村：

はい、わかりました。次、守山のあなた。

Q（高齢男性）

2027年に東京大阪のリニア新幹線が開通する。大阪には18年後にしか行かない。東京・名古屋は発展するけど、大阪はがた落ち。道州制しかないと聞いたが、滋賀には道州制は旨みがない。世界をリードしなアカン。

Q（男性）

武村さんは高度経済成長期に努力された。「もう成長ないよ」とはっきり言ったのが嘉田さん。これを次、世代間抗争を解消するのが問われている。

武村：

原発の問題は滋賀県民にとって極めてシリアス、重大な問題。東京よりも、14基も原発が並んでいる立地だけ考えても、滋賀県は非常に立地条件は大変。この問題に関心を持たないといけない。嘉田さんの原発に対する考えに賛成の人は手を挙げてください（大半）。反対の人は（5～6人小さく挙手）はい。

Q（若い男性、村上悟）

嘉田さんが2期で頑張ったことは理解したが、これから地域でNPO、市民発電とかは大事。自己評価でも低い。8年前、嘉田知事の選挙を応援したが、住民自治はまだ弱い。頑張っている市民を次はどうしていきたいのか。考えて欲しい、（笠原、藤井がうなずいて

いる)

武村：

市民の力生かし切れなかったというご批判ですが、知事に答えてもらうには時間がたりない。はい次。

Q（東京の男性）

今日このために東京から来た。アール・ブリュットの分野では日本より滋賀、と考えられている。引き続き取り組んでほしい。外交カードにもなるので努力して欲しい。

武村：

アール・ブリュット続けるために県政続けてほしいということでした。次どうぞ。

Q（高齢男性）

嘉田知事は頑張っているが、意思表示をまだしていない。自民が必死でやる。負けたらただの人。一日も早く決意してほしい。

武村：

選挙は一般には早く立候補した方が有利というが、私の経験では必ずしもそうではない。中身がばれてきて、メッキがはがれて。直前にぱっと出た方が有利ということもあります。新鮮みがあって。

Q（大津市のキタムラミエコ）

源流の森を守るためにもう一期やってほしい。

武村

はい、ひげの方。

Q（男性）

南小松の民宿で茶話会しているようなので、開催したいがどこにお願いしたらいいのか。

嘉田

後援会、嘉田由紀子と歩む会です。会場に会長の小坂育子さんが来ておられるので直接に話をしてください。

Q（若い男性）

嘉田知事、今名前が出ている役人出身の候補者をどう思うか？一般論で結構です。役人出身で落下傘。

知事

全国的に見ると47知事のうち30人ぐらいは役人出身です。役人出身ではない知事の方が少ない。それが事実です。それ以上はコメントを差し控えます。

Q（大津の若い男性）

琵琶湖大橋を早く無償化してほしい。あと、県のいじめ対策方針出たが、滋賀県は法律に準拠する。大津市はいじめをもっと広範囲にとらえている。市町と県の矛盾発生している点について考えを

武村

矛盾というけど、違いはあって良い。それがまさに地方自治ですが、いじめ問題だけこたえてください。

嘉田

それぞれの自治体で対象とする学校が違う。小中は大津市、県立は県。微妙な解釈の違いはあるが、いじめは関係性の病理と考えており、深く広くとらえるべきと私自身は認識している。

武村

時間です。今日、皆に一致するのは嘉田県政に期待している点。万が一新しい人にならうと、政策を続けてやってほしいということ。これで終わります。